

## 平成27年度 あきたスマートカレッジ (報告)

**S : 新鮮！ 県美ゼミ**

**連携機関： 県立美術館**

会場：秋田県生涯学習センター4階 第1研修室

【趣旨】 県立美術館職員の解説を通して、芸術に親しむための講座です。

回	期 日	テーマ	講 師	参加者数
1	10月9日 (金)	【講演】「藤田嗣治と平野政吉 まぼろしの美術館 1936～1938」について語る	学芸員 原田 久美子 氏	26
2	10月17日 (土)	【現地学習】「藤田嗣治と平野政吉 まぼろしの美術館 1936～1938」を鑑賞する		23
合計				49名

「藤田嗣治と平野政吉 まぼろしの美術館 1936～1938」開催に伴い、1回目では藤田自身に関する講演を、2回目の現地学習では展示解説をしていただきました。ここでは2回の講座についてまとめて報告します。



が語られました。

講演(S1)では、前半で「まぼろしの美術館」となった「平野政吉家美術館(藤田美術館)」に展示されるはずだった藤田嗣治の作品を中心に、その画業を紹介していただきました。藤田の画業は5期に分けることができ、それぞれの時期の代表作について画風の変化が見られることや藤田自身の生活の様子などが

後半は「平野政吉家美術館(藤田美術館)」についての内容でした。「平野政吉は藤田嗣治以外のコレクションも含めた美術館作りを目指し、藤田嗣治は自身の個人美術館を目指した形跡があったこと」「屋根がガラス張りの壮大な美術館で、『秋田の行事』は床から20センチ程度離れたところに臨場感溢れる形で展示される予定であったこと」などが語られました。

一週間後の現地学習(S2)で、講演を受ける形での展示解説とともに、平野政吉家美術館の模型を見ることができました。あらためて「まぼろしの美術館」が完成していたら…、と想像力をかき立てられました。

